

さいたま市立宮原小学校

学校だより

平成28年10月3日 第6号



学校教育目標 心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成  
・たがいに努める子・たがいにきたえる子・たがいに手をとる子

〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-102-6  
Tel 048-664-5153 FAX 048-664-8989

### 読書の秋。読書のすすめ。

校長 新堀 栄

どこからともなく金木犀の香りが漂う季節になりました。

今年の9月を振り返ると、毎週のように台風が日本に上陸し、例年に比べて全国的にも大雨が多く、天気予報では、「観測史上初」という言葉を何度も聞きました。ここに来て秋は確実に進み、天候も安定しつつあり、まさに「勉強の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」など、1年でもっとも過ごしやすいシーズンの到来です。

先日の運動会当日の午後は、思わず天を仰ぎました。雨が、せめてあと1時間後ならば……。悪天候のため、結果的に2日間に分けて行わなければなりませんでした。劇的な白組の逆転勝利で今年度の運動会を無事終えることができました。保護者の皆様や地域の皆様からは、「一人ひとりが一生懸命でしたね。」「6年生の表現運動は感動しました。」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。励ましと心温まる応援、後片付けまでお手伝いいただきましたことに感謝申し上げます。児童が全力を尽くした競技にも演技にも、練習にも本番にも、その一つ一つに価値があります。児童の成長の大きな糧となっていれば幸いです。

さて、本校では、10月を読書月間としています。また、下旬からは、全国的に読書週間が始まります。終戦まもない1947年（昭和22年）、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社、書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、第1回『読書週間』が開催されたそうです。そのときの反響がすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。この秋は、落ち着いた生活とともに積極的な読書をおすすめします。読書の習慣により、一生の財産としての様々な力、例えば「考える力」「感じる力」「想像する力」「表現する力」などが身に付くとされています。一方、先日発表された、「全国学力・学習状況調査」の結果では、「読書が好き」（当てはまる、どちらかと言えば当てはまるをあわせた値）と答えた児童は、全国の小学校6年生74.6%に対し、さいたま市では71.8%と、全国に比べ、2.8%少なくなっており、やや開きがあります。宮原小には、図書室を整備していただいたり、装飾をしていただいたり、朝の読み聞かせをしていただいたりする図書ボランティアさんがいらっしゃいます。まさに読書をする環境が整っています。また、今後、「先生方のおすすめの本コーナー」を図書室に設置し、紹介文等も掲示される予定ですので、お楽しみに。

学校では、これからも引き続き読書活動の充実を進めます。ご家庭においても、読み聞かせをする、子どもとともに本を読む、大人が読書する姿を見せる、本を紹介し合う、公共図書館を利用するなど、子どもたちの“読書へのいざない”を支えていただければ幸いです。

## 9/24 運動会

ご声援ありがとうございました。

### 9/5 校外学習(5年)

富士重工矢島工場と元荒川水循環センターを見学しました。自動車工場では、1台の車ができるまでの工程を見学したり、工場の周りの建物や道路の様子を観察したりしました。水循環センターでは、施設の見学等を通して、下水処理の仕組みを学ぶことができました。

### 9/7 鍵盤ハーモニカ講習(1年)

講師の先生を招いて「鍵盤ハーモニカ」の勉強をしました。初めて使う鍵盤ハーモニカでしたが、先生が分かりやすくお話ししてくださり、楽しく学習することができました。

### 9/15 スーパーマーケット見学(3年)

社会科学習の一環として、「スーパーマーケット」を見学しました。「スーパーでは、お客さんの願いに応えるため、どのような仕事をしたり、工夫をしたりしているか。」について、店内の見学やお店の人への質問を通して知ることができました。

### 9/15 プラネタリウム教室(4年)

さいたま市宇宙劇場で、プラネタリウム等の体験を取り入れた理科の学習を行いました。月や星、太陽の映像を見て、実際の動き方について、より具体的に理解することができました。また体験してきたことをさらに深く調べようとする児童が見られるなど、学習に対する意欲も高まりました。

10月の生活目標「読書に親しもう」